



【手立て(援助)や環境構成の工夫】

- ・ホップステップジャンプで投げる動作を教わったことをきっかけに、廊下に玉入れを設定し、投げる運動を遊びの中で経験できるようにした。
- ・サーキット遊びの中のに的当てを取り入れ、投げる動作を繰り返し経験できるようにした。

【成果】

- ・的当てや玉入れは、対象を狙って投げるため、投力だけではなく、集中力を高めることにも繋がった。
- ・投げる動きを取り入れた遊びを多く経験することで、投げる動作がスムーズになり、投力が高まった。
- ・サーキット遊びでは、多くの子供が投げる運動ができたとともに、走る動きや跳ぶ動きも同時に経験できた。

【課題】

- ・個の運動だけではなく、ドッジボールなどの集団ゲームを行い、投げる動きを今後も継続して経験できるように遊びに取り入れていく。
- ・運動遊びにより興味をもって取り組めるように、的や玉入れなど、物的環境を子供と一緒に作ったり考えたりすることが必要である。

(例) 様々な運動遊びに取り組む子を育てる

〇〇園・所

画像(手立てや環境の工夫)

手立てや環境構成の工夫に関わる画像

画像(取組の様子)

※子供をメインに

手立て(援助)や環境構成の工夫について

- ・ 継続的に取り組むルールや場を工夫した「おにあそび」
(グループおに、線踏みおに…)※体育の時間
- ・ 子供の創意を生かした委員会活動による「おにあそび」
(1・2年仲よしおにごっこ)※ジャンボタイム

【成果】

- ・ 個やグループで楽しく敏捷性につながる動きを高めることができた。
- ・ ルールや場の工夫で走力が低い子供も楽しく、繰り返し取り組むことができた。

【課題】

- ・ 実態に合わせてルール(おにの人数や広さ)を考慮する必要がある。※衝突事故の回避